

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	看護管理学特講演習 Seminar/Practice in Advanced Course in Nursing Management & Administration			担当 教員	林 千冬 (専 任)	
開講年次	1～2年次	単位数	6単位	科目 分類	専門科目 基盤看護学	授業形態	演習・実習	
選択必修	選 択	時間数	270時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		医療・看護サービスに対する社会的ニーズの変化の中で、サービス提供システムとそれを規定する制度・政策や看護提供組織における看護管理をめぐって、どのような問題解明が必要とされているのか、そして、そのために有効な理論と研究方法は何かを追究する。						
授業のキーワード								
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
	<p>I：問題意識と追究テーマの絞り込み (1)看護管理学の範囲と課題 (2)追究テーマの背景（問題意識の明確化） (3)追究テーマに関連する先行研究（文献のシステムティック・レビュー） (4)関連トピックス（マスメディア情報等）のフォロー (5)追究テーマの解明に有効な諸理論の探索と検討</p> <p>II：実習 (1)実習課題の明確化とフィールド選定 (2)実習成果の報告と追究テーマのさらなる明確化</p> <p>III：研究課題の明確化と研究方法の検討 (1)追究テーマにおいて導きうる諸仮説と研究の概念枠組の明確化（必要時） (2)研究課題に適した研究方法の検討</p> <p>IV：研究計画書・習作版の作成</p>							
テキスト	とくに指定しない							
参考文献	開講後、適宜提示する							
成績評価の方法	<p>以下の3点について評価する。</p> <p>1) 演習におけるプレゼンテーションの内容と質（40%） …文献選択の適切さ（20%）、作成資料の正確さ・わかりやすさ（10%、抽出された論点や考察の適切性（10%）</p> <p>2) 演習でのディスカッションにおける積極性と貢献度（30%） …発言の頻度・積極的（10%）、発言の正確さ・わかりやすさ（10%）、発言内容の適切性（10%）</p> <p>3) 研究計画書（習作版）の完成度（30%） …文献検討の適切性（10%）、研究目的と意義の妥当性（10%）、研究方法の妥当性（10%）</p>							
教員から学生へのメッセージ	<p>1)開講後すぐから上記Iの取り組みを開始します。[文献・書籍検索→抄読→プレゼンテーション→議論]のサイクルを何度も繰り返しますが、特に文献の検索・抄読には多くの準備を要します。修士論文の成否を分ける重要な土台作りであることを意識して取り組んでください。</p> <p>2)文献レビューおよび研究計画書作成の過程で、他者の研究論文や研究計画のクリティック能力および他者のプレゼンへのコメント能力を高めることも目的のひとつです。ゆえに、積極的な議論への参加・発言が不可欠です。</p> <p>3)特論で作成する情報ファイルに、この演習で得た情報も累積させ整理して行ってください。</p> <p>4)この演習には、自らの追究テーマを検証するための臨地実習も含まれます（実習施設は、各自適当と思われるところを選び、自主的に交渉してください。実習期間等を含む詳しい計画については、追って説明します）</p> <p>5)この演習で作成する研究計画書（習作版）をもとに、特別研究のコースで研究計画書を完成させ、実際の調査・研究活動へと入っていきます。</p>							

